

■ 札幌ふるさとの樹木 ■

その17：ハリギリ（針桐）・ウコギ科

葉の大きいことを桐に見立て。枝に棘があることからこの名がつけられた。別名「センノキ」。日本各地の山地に生える落葉樹。高さ20m、太さ1m、若木の枝や幹に棘がある。

耐陰性に富み、肥沃な地を好むため、北海道開拓時代、ハルニレと共に土地の肥沃度を判定する指標にされたという。

花期は7～8月。花色は淡黄緑。花序は散形。葉は互生。材は良質で建具、家具、器具材、楽器材に使われる。若芽（葉）はタラの芽と同じように食用になる。

